

医歯学祭を終えて

医歯学祭実行委員長 小松万記
歯学科3年

2012年10月27、28日に第2回医歯学祭が行われました。昨年創設された医歯学祭も、無事第2回開催を迎えることができました。

今年の医歯学祭のテーマは『Step』でした。このテーマには、昨年始まった医歯学祭を新たな段階へと歩み出していくようにしたい、これまでの医学祭・歯学祭の伝統を今後の医歯学祭へと継承していく良きステップにしたい、という願いを込めました。今年は、医学部・歯学部がより協力し、昨年よりも発展した医歯学祭の姿を皆様にお見せできるよう、皆で努力しました。医学部と話し合いを重ね、企画・準備を進めていく中で、本当にたくさんの困難がありましたが、何ヶ月も前から根気強く共に準備に励んでくれた各係のチーフを中心とする3年生や協力してくれた2年生のおかげで無事当日を迎えることができ、成功させることができましたと思います。本当に感謝しています。

さて、歯学部からは例年通り、無料歯科相談や歯学部展示など“歯”に関する催し物を多数用意しました。歯学部展示では、骨密度測定やミラクルフルーツ体験、石膏体験、口腔微生物観察といったコーナーを用意し、歯学部やお口の中、歯に興味を持って頂けるよう工夫をしました。小さな子供達には石膏体験が、高齢の方々には骨密度測定が特に人気でした。3年生は、講義や実習を通して石膏や口腔細菌、味覚について学んだばかりだったので、その知識や経験を活かし、学校外部の方に丁寧に分かりやすく説明できるよう頑張りました。2日間を通し、多くの方にご来場頂き、様々な世代の方に楽しんで頂けたと思います。様々なコーナーを用意するにあたって、口腔生理学、微生物感染症学、生体材料学の先生方には大変お世話になりました。お忙しいところご協力頂きまし

て、本当にありがとうございました。

また、テニス部、バドミントン部、口腔生命福祉学科3年生が模擬店を出店し、軽音部のライブや茶道部のお茶会も大変盛況でした。医歯学祭ということで医学部との共同企画が多くなりましたが、歯学祭の時から続いている歯学部らしい催し物も多数用意することができ、普段歯学部にはあまり関わりのない方々にも、歯学部のことを知って頂く良い機会になったと思います。

医歯学祭実行委員長として半年程活動をしてきて、大変なことが多く、途中で投げ出したくなることも多々ありましたが、様々な人と関わり、医歯学祭という大きな行事に携わることができたのは、自分自身にとって大変貴重な経験になったと、今は思えます。半年間共に頑張ってくれた3年生、様々なアドバイスをくださった先生方や先輩方、学務の方々には本当に感謝しています。ありがとうございました。

来年以降、医歯学祭という形を継続するかどうかはまだ分かりませんが、どんな形にせよ、医歯学祭、歯学祭が更なる発展を遂げることを願っています。今年の経験をしっかりと後輩へ受け継ぎ、応援していきたいと思います。頑張ってください！

